

伝統と現代が

新春対談



三遊亭 楽生 落語家

PROFILE

三遊亭 楽生 師匠(44)

岩槻区出身。「笑点」に出演中の6代目三遊亭円楽の総領弟子。1997年に入門し、「楽花生」の名をもらう。2006年から中国へ1年間留学し、2008年に「楽生」と名を改め真打昇進。2020年3月、さいたま観光大使に就任。

落語家の三遊亭楽生師匠は岩槻区出身で、19歳で落語界に飛び込みました。地元から今につながる「種」をもらったという楽生師匠と清水市長が、岩槻人形博物館で市の文化や芸術の魅力と、今後への期待を語り合いました。

伝統の中に 未来の都市像

——楽生師匠は、岩槻区のご出身ですね。

楽生 小・中学校と岩槻区の学校に通いました。中学校で生徒会の役員になって、人前で話すことを学んだんです。今の生き方の「種」は、間違いなく地元にありますね。

伝統芸能である落語の世界に入ったこともあって、市内だと氷川神社や岩槻城址公園、久伊豆神社などの歴史的空間が好きですね。季節ごとに表情を変えてくれますし、先人が大事にして後世に残してくれたものなので、ぜひ多くの人に見ていただきたいです。また、市内には地酒や料亭も多く、昔からの風土を受け継いでいると感じます。

市長

伝統文化の盆栽や人形にしても、鉄道、うなぎにしても、コアなファンがしっかりいますね。コアな層に加えて、どうやってより多くの人に知ってもらえるか。それが、大宮盆栽美術館や岩槻人形博物館を作ってきた目的の一つでもあります。

さいたま市の良さの一つは都市と自然が共生していることです。盆栽は、まさに都市の中の自然という面がありますね。また、岩槻の人形は、子どもの健やかな成長を願って人形を贈ることで、家族の絆を温めていく文化です。こうしてみると、各文化にはこれからの都市に必要なエッセンスが詰まっていると感じます。

伝統芸能を 受け入れやすい風土

——楽生師匠はなぜ落語という伝統の世界に飛び込んだのですか。

楽生 大学受験に落ちなければ、落語家にはならなかったでしょうね(笑)。浪人して、パッと思いついたのがうちの師匠の円楽(当時は楽太郎)でした。ス

織りなす さいたまの豊かさ

清水 勇人

さいたま市長



オンラインで文化芸術を楽しむ

(公財)市文化振興事業団の公式YouTubeチャンネルでは、自宅で過ごす時間を少しでも楽しんでいただくため、「動画 De Culture」として動画配信中。三遊亭楽生師匠の落語のほか、コンサート動画などを楽しめます。

大宮盆栽美術館では、Web会議サービス「Zoom」を活用したオンラインワークショップなどを開催中。詳しくは20ページをご覧ください。

タイリッシュでカッコよくて、落語はもちろん、テレビ番組への出演、講演活動、当時は時代劇やCMにも出ていて。楽太郎の弟子になりたい、そばでたくさん学びたいという思いで飛び込みました。

市内には落語の興行をする寄席が多いですね。落語は、見る人が着物に違和感を覚えると、非常にやりにくいんです。市外の小・中学校や高校を訪れる「学校寄席」で「うわ、着物だ」と距離を感じられてしまうこともあります。その点、市内だと着物を着る祭りなどの機会があるので、伝統芸能をやりやすい

です。

文化が持つ癒やしの力

——コロナ禍で仕事に大きな影響があったのではないですか。

楽生 大変ですよ。仕事がコロナで一度なくなったときに「あ、こんなにも無力なんだ」と思いました。落語は、屋外に向かないし、お客さんにはなるべく集まってほしいし、年配の方が多い。コロナと相性が悪いもので、一時はどうなるかと心配しました。

市長 芸術は間近に見て、言葉だけでは足りないその場の雰囲気ま



多彩な文化とふれあう

市内には、地域に根づく文化にふれることができる施設があります。盆栽文化振興の核となる施設「大宮盆栽美術館」、人形文化の拠点「岩槻人形博物館」、貴重な漫画の文化を受け継ぐ施設「漫画会館」、地域ゆかりの作家を収集の柱の一つとする施設「うらわ美術館」など。さまざまな企画展やイベントを開催しています。詳しくは20・21ページをご覧ください。

市長 新型コロナは、健康と命

で五感で感じることも大切です。しかし、コロナ禍でそれが難しくなったため、1000点満点の形でなくても、何らかの形で発信ができるのではないかと考えました。そこで2020年から、(公財)市文化振興事業団の公式YouTubeチャンネルで文化芸術を動画配信する「動画DeCulture」を始めたんです。楽生さんの落語も収録しました。

楽生 発信の方法を模索しても

らっているのが、ひしひしと伝わってきて、ありがたかったですね。

—— 2022年に文化面で新た

伝統と現代の融合を生みたい

にかかわると同時に、心へのダメージが大きい感染症だと捉えています。これまで感じたことのないストレスの下で生活している人もいるでしょう。不要不急と言われがちな文化活動ですが、コロナ禍だからこそ、その役割がますます大きいですね。機会を作って、皆さんに心を癒やしていただこうと、オンラインで配信してきました。

な動きはありますか。

市長 4月に市民会館おみやが

大宮駅前に移転し「RaiBoC Hall」(レイボックホール)としてオープンします。アクセス抜群なので、新しい文化を生む場、そして伝統を継承する場にしたいですね。練習や発表、展示の場として大いに活用してほしいです。

楽生 大小のホールに展示室や

スタジオまで完備した、あれだけの施設が駅前にできるからには、皆さん使いたいと思うはずです。「レイボックホールに呼ばれる芸人になった」と誇れるような価値につながる施設になるでしょうね。

市長 さいたま市は、政令指定

都市の中でも芸術や文化を職業にしている人が多いんです。そこで、地域で育まれてきた芸術や文化など文化芸術都市としての発展のため、さいたま国際芸術祭を開いたり、大宮盆栽美術館や岩槻人形博物館といったシンボリックな施設を作ったりと文化の発信を強化してきました。今までバラバラに活動していた人が出会うきっかけが生まれたり、芸術を盛り上げようと考える人が増えたりしています。



▲コミュニティプラザ・コルソ(浦和区高砂)

さまざまな文化が根づくまち

人形や盆栽、芸術などの文化が根づくさいたま市。県東部では、桐細工の産地でもあったため桐粉を使った人形作りが盛んになり、岩槻区は大正時代以降に本格的な産地として人形のまちに発展。また、1923年の関東大震災後には、被害が少なかったことなどから多くの盆栽業者や文化人などが移り住み、北区盆栽町では盆栽、うらわ美術館のある浦和区近辺では絵画などの芸術が花開きました。



レイボック ホール RaiBoC Hall

4月1日に、「市民会館おみや」が移転し、市民投票で決定した愛称「RaiBoC Hall」としてオープンします。大ホール(1,400席)、小ホール(最大340席)に加え、展示室、集会室、スタジオなども整備し、大宮のまちの個性を活かした新たな文化芸術の発信の場となります。

所在:大宮駅東口・大宮門街(4~9階)



——市長
コロナ禍だからこそ、
文化活動の役割はすごく大きい

市長 伝統は誰かが継承しないと、なくなってしまう。市内にはさまざまな伝統文化が残っていますが、危機的な状況にあるものも少なくありません。どう守って、次の時代に引き継ぐかが問われています。

地域の文化を大切にしようと呼びかけるだけでは、魅力が伝わりにくく

子が増えるといいですね。伝統芸能で貢献できることがあれば、何でもしていきたいです。

市長 伝統は誰かが継承しないと、なくなってしまう。市内にはさまざまな伝統文化が残っていますが、危機的な状況にあるものも少なくありません。どう守って、次の時代に引き継ぐかが問われています。

地域の文化を大切にしようと呼びかけるだけでは、魅力が伝わりにくく

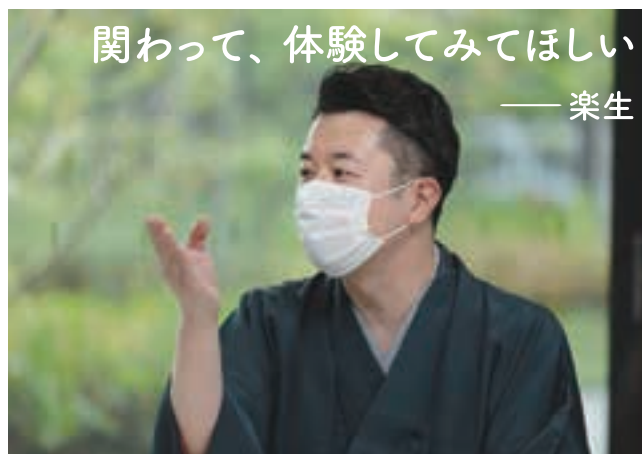
——楽生師匠は2020年3月にさいたま観光大使に就任しま

文化の体験は楽しい

市民の中には、才能を東京で発揮する人も少なくありません。こうした人が活動ができる場を市内に作ることで、さいたまも面白いという評価が生まれると期待しています。伝統も大切にしつつ、他地域からの転入者と共に新しい文化も作る。伝統を現代的なものと融合させるそんな試みが、市内各地で生まれています。

楽生 僕は地元で今につながる種をもらいました。ですから、さいたま市で生まれ育った子が大人になって「あれ、そんなこともできるんだ」と周囲に感心されるような種をあげることができたと思います。着物を着られたり、たためたり、和楽器を奏でたりできる

文化は、先人からいただいたバトン



関わって、体験してほしい

——楽生

「文化の楽しみ方」を教えてください！

市内での文化の楽しみ方や文化を感じる場所をテーマに、あなたのお気に入りスポットの写真を募集します。応募者の中から抽選で10人に大宮盆栽美術館・岩槻人形博物館いずれかのペア入場券をプレゼントします。写真は、市報や市ホームページでも紹介します。

応募方法

Instagram: さいたま市公式アカウント (@saitamacity_official) をフォローし、「#市報さいたま」をつけて投稿してください。

郵送: 写真データ(JPG形式)を保存したCD-Rなどの記録メディア、又はプリントした写真、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、希望する入場券を〒330-9588 浦和区常盤6-4-4 広報課へ。

※1人につき、データ3点(記録メディア1つ)、又は写真3枚までです。また返却はしません。

応募期限 1月31日(月)

※注意事項などについて詳しくは、市ホームページへ。

詳しくは、広報課へ。☎ 829・1039 ☎ 829・1018



応募詳細はこちら



公式 Instagram

今月の表紙

組紐のように
さまざまな活動が
織りなす「さいたま」
あなたのおすすめ
スポットは何？



撮影協力：中川組紐工芸
(伝統産業事業所)
所在：岩槻区本町